

【優先的検討規程策定・運用支援】千曲市 支援計画（案）

1. 実施方針

（1）本業務の目的

貴市では、厳しい財政状況の中、公共サービスの効率的・効果的な提供に向けて、民間の経営資源やノウハウの活用が期待されています。本業務の目的は、PPP/PFI 導入検討の課題（運用負担の軽減等）を見据えつつ、貴市の特徴に応じた実効性のある優先的検討規程（以下「規程」という。）の策定支援を行うことと理解しています。

また、規程案に基づいた運用支援を通じて課題を把握・整理し、規程案を見直すことで実効性を高めます。

（2）条件及び実施方法

上記目的を達成させるための条件及び業務の実施方針は、以下のとおりです。

条件 1	実態の把握とそれを踏まえた優先的検討規程策定の支援
-------------	---------------------------

実施方法：

貴市における事業発案、庁内の意思決定手続き、これまでの事業所管課による事業化検討の実態を把握のうえ、他の小規模自治体の先進的な規程を参考に、貴市の PPP/PFI 導入のボトルネックを解消できるよう、規程案を検討致します。なお、検討項目・評価項目の検討及び、以下のポイントを踏まえ策定を支援します。

【ポイント】：

▶実態に見合う事業分野・規模 ▶段階に応じた検討事項 ▶全庁的な発案状況の捕捉と検討・意思決定体制構築 ▶民間の意向反映（地域 PF の活用） ▶簡便な評価（VFM に現れない多様な効果の評価を含む） ▶ローカル PFI の検討

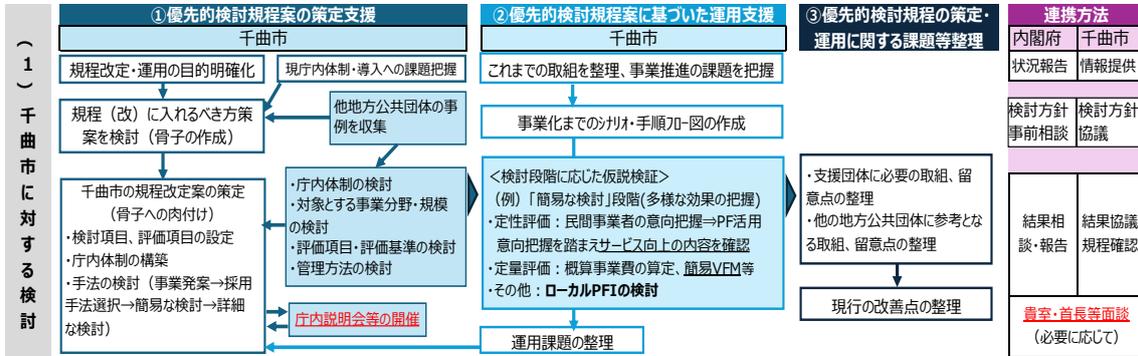
条件 2	事業化を見据え判断基準を明確にした着実な支援と規程へのフィードバック
-------------	------------------------------------

実施方法：

事業案件の運用支援にあたっては、当該事業の推進上の課題を整理し、当該事業の検討段階に応じ、規程案に基づいた評価項目を検討、評価し、民間活用の検討を次の段階まで進めることができるよう、事業化を見据えた判断基準を設定して支援を行います。また、事業案件の支援を通じて規程に定める内容の妥当性を検証し、その結果を規程にフィードバックすることで、実効性のある規程へと精査を重ねます。

2. 作業フロー

業務項目ごとに、以下の実施手順、連携方法により業務を進めます。



3. 工程表

- ・ 貴市との打合せは現地派遣+オンライン会議の計7回程度を予定しています。
- ・ 10月までに事業案件に関連する部分の規程案を作成し、以降は事業案件において運用を試行、規程案に反映させます。

検討項目	7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	中	下	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中
(1) 支援対象団体に対する検討																		
① 優先的検討規程案の策定支援																		
i) 規程策定・運用目的の明確化																		
ii) 規程案に取り入れるべき方策案の作成																		
iii) 実効性のある規程の策定・運用に向けた知見提供																		
② 優先的検討規程案に基づいた運用支援																		
i) 事業者選定までのシナリオ・手順フローの作成支援																		
ii) 次段階に進むための情報収集・整理																		
iii) 規定の運用上の課題整理・反映、改善案の提案																		
③ 優先的検討規程の策定・運用に関する課題等整理																		
○ 地方公共団体との打合せ																		

4. 業務内容

(1) 優先的検討規程の策定支援

貴市における優先的検討規程の策定・運用の目的を把握し明確にした上で、以下方策を踏まえ優先的検討規程の作成を支援致します。

- 方策1：貴市の特徴に応じた対象事業の基準設定
- 方策2：実態に即した庁内推進体制の構築
- 方策3：貴市職員の負担を考慮した検討方法の導入
- 方策4：民間の創意工夫の余地拡大、参加促進のための仕組み導入

(2) 優先的検討規程案に基づいた運用支援

貴市へのヒアリングを通じて対象事業の情報を収集した上で、対象事業の今年度の到達点と事業推進上の課題を整理し、具体的な検討の道筋を提示致します。また、対象事業の検討を通じて把握した改善点を、規程案にフィードバックします。

■ 検討事業の概要【モーダルコネクト（交通モード間の連携）拠点整備事業】

- ・ 「千曲市総合計画」「千曲市都市計画マスタープラン」等、市の上位計画に位置付けられた、上信越自動車道へのスマートインターチェンジ【（仮称）屋代スマート I C】新規事業化に伴い、その周辺において、高速バスを中心とした各種交通手段との乗り入れ・乗り換えが可能な「モーダルコネクト拠点」の形成を計画。
- ・ 拠点周辺約 25ha の広大な土地には、住宅・商業・産業・公共文化等のゾーンが民間開発により計画されており、モーダルコネクト拠点はその中核的な位置づけであることから、将来にわたる同地区の活性化を担う重要な機能となる。
- ・ 「第三次千曲市総合計画（令和 4 年度～令和 8 年度）」の内、
 - 1-4【都市基盤】快適で便利な、持続可能なまちをつくる
 - 7-4【行政経営】広域連携を進め、持続可能な行政運営を目指すにおいて PPP/ PFI を推進すると位置付けられている。